

平成31（令和元）年度

時間外電話相談
「育児もしもしキャッチ」
—相談情報分析結果報告—

あいち小児保健医療総合センター

あいち小児保健医療総合センター保健センターでは、平成 13 年 11 月のオープン時より、県民の育児不安を軽減し、健やかな子育てを支援することを目的に、時間外電話相談「育児もしもしキャッチ」（以下、「育児もしもしキャッチ」）を開設している。

開設当初は、月曜日から金曜日まで開設していたが、当センターの外来診療日の変更に伴い、平成 15 年 5 月より火曜日から土曜日に相談日を開設している。

「育児もしもしキャッチ」

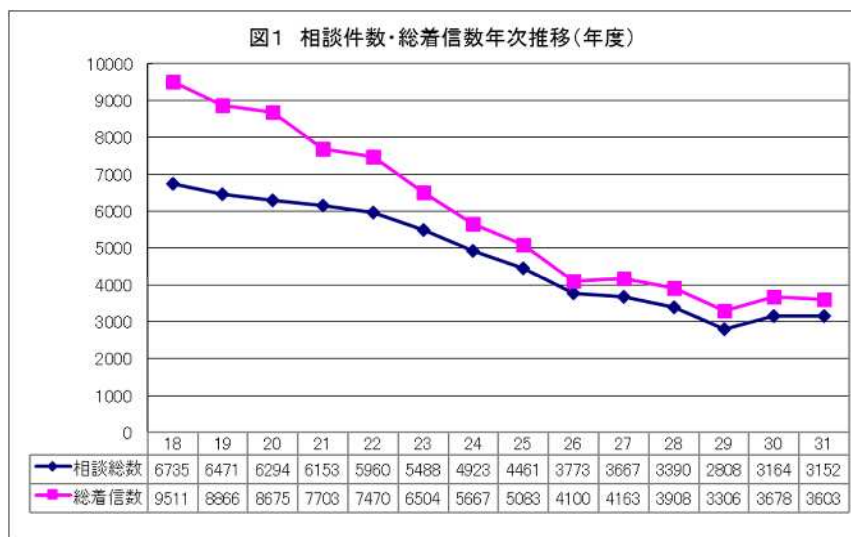
主な相談内容	母子健康手帳を活用する年齢層の母等を対象に、健康や育児について
開設日時	火曜日から土曜日 午後 5 時から午後 9 時まで（4 時間）
相談担当者	保健師、助産師、看護師等の専門相談員が、毎回 3 人で応対
相談体制	当センターの保健師 1 名が相談終了まで勤務する体制をとり、困難な相談への助言、連携の必要なケースを地域に繋ぐ役割等、相談員をバックアップしている。
相談記録の記載方法	相談は原則匿名としているが、相談終了時に相談者の居住地、相談経路を聞いている。電話相談員が相談記録を記載し、予め設定されている「相談内容分類コード」に従い内容の分類を行っている。
相談の周知方法	各市町村にて乳幼児健診や育児相談、家庭訪問等の際に案内カードを母等へ配布するほか、当センターのホームページに案内を掲載している。

【平成 31（令和元）年度の事業内容】

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までに寄せられた相談情報を保健部門のシステムに入力し、地域別利用数や相談者、相談時間、相談内容等に注目して分析した。

1 相談総数・総着信数について

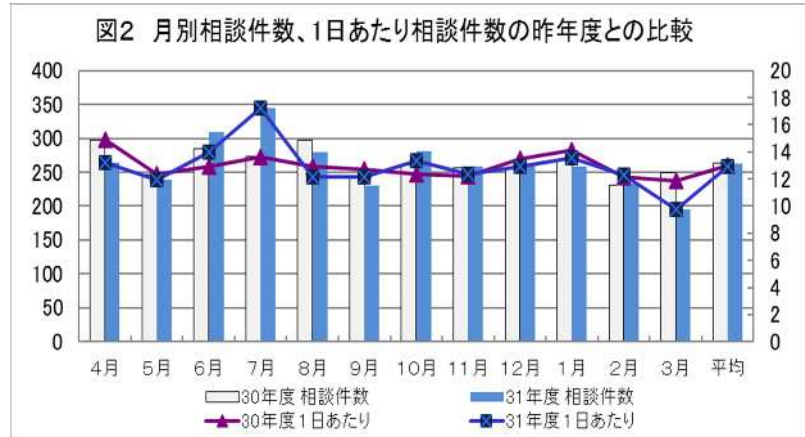
期間中の相談総数は 3,152 件、総着信数（電話に回答中のため回答できなかった件数をあわせたもの）は 3,603 件であった。間違い電話等 188 件は除いている。平成 31 年度は、相談件数が 30 年度より 12 件と微減した。平成 14 年度（平成 13 年 11 月から平成 15 年 3 月、以下平成 14 年度と表記）



以降の相談件数は、平成 18 年度まで増加し、その後は平準状態となり近年は減少の傾向にある。また、平成 17 年度がピークであった対応不能件数は減少してきている。今年度の対応不能件数は 451 件で昨年度の 514 件より 63 件減少したが、依然として 1 割強（12.5%）の相談に対応不能の状態である（図 1）。

月別相談件数では、7月が最も多く344件、3月の195件が最も少なく、月平均262.7件であった。昨年度の月平均は263.7件であった。

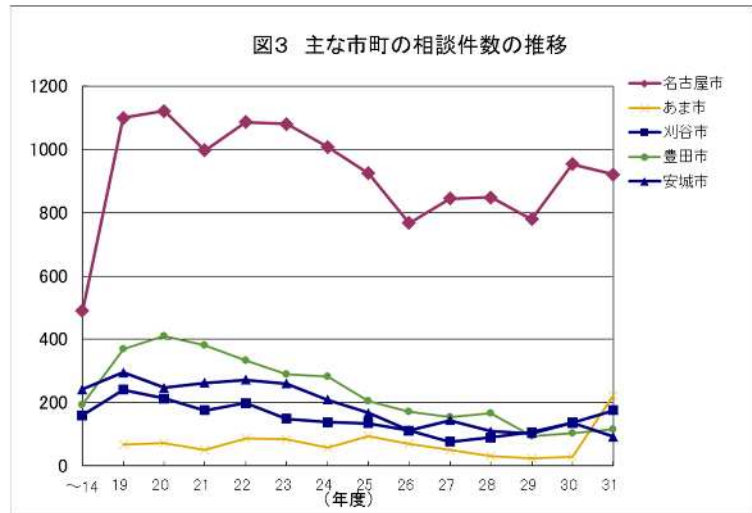
1日当たりの件数は12.9件で、昨年度13.0件とほぼ同数であった（図2）。



2 地域・経路について

(1) 利用者の居住地について

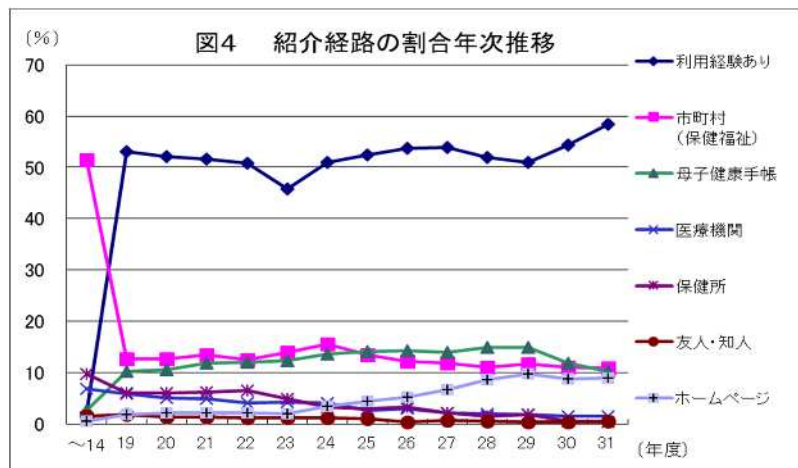
相談者の居住地が把握できた2,950件を分析した。相談は県下ほぼ全域から寄せられており、市町村別では、名古屋市(921件)、あま市(222件)、刈谷市(175件)、豊田市(116件)、安城市(92件)の順に多かった。名古屋市では、平成19年度に「子どもあんしん電話相談」が開設されたため相談件数の著しい減少が見られた。また豊田市も、近年横ばいであったが、平成28年9月に市民を対象とした救急医療・子育て相談の電話窓口を開設したため、相談件数が大きく減少した（図3）。



出生1,000に対する割合をみると、最も高いのはあま市の656.8（昨年度40.5）で2番目は蟹江町の186.4（昨年度150.5）、3番目は南知多町の164.2（昨年度123.6）であった。また、県外からの相談は58件あった（資料：表1）。

(2) 経路について

「利用経験あり」が1,849件（58.7%）で最も多く、近年は微増している。初回相談者が相談電話の情報を入手した方法は、市町村(保健福祉)からが344件（10.9%）、母子健康手帳交付時にもらった「案内カード」によるものが323件（10.2%）など、保健機関からの情報によるものが初



回相談者の約半数を占めている。インターネット、スマートフォンの普及によりホームページからの情報が282件(8.9%)で、その割合は平成24年度より漸次増加している。また、県外からの相談58件のうち14件(24.1%)がホームページからの情報であった(図4、資料:表2)。

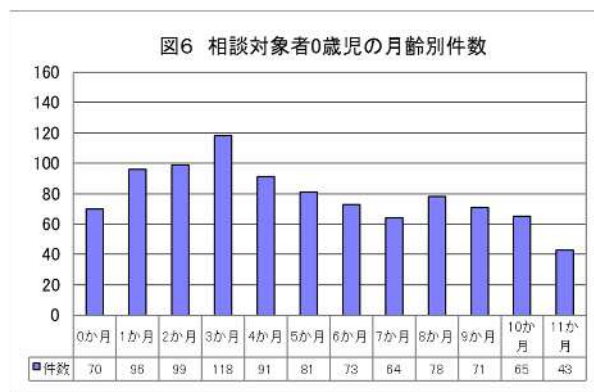
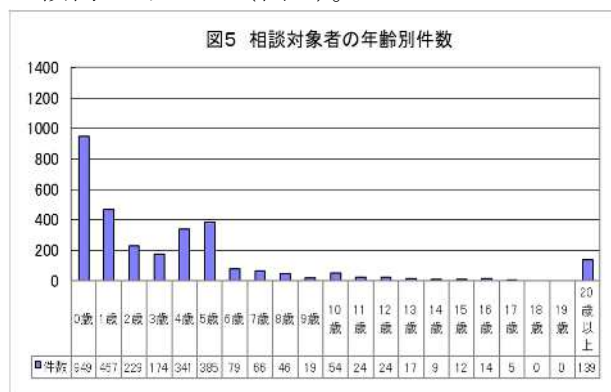
3 相談者・相談対象者について

相談記録では、相談者(電話をかけてきた人)の続柄を相談対象者との関係から本人、母、父、配偶者、祖父母等、兄弟、専門職等、その他と分類しているが、母からの相談が91.4%と最も多かった(資料:表3)。

相談対象者は「子ども」が2,965件(94.1%)であった。また、「本人」(母自身のことに関する相談など)は162件(5.1%)であり、経年的にみてもほぼ同様の傾向であった(資料:表4)。

相談対象者の年齢では、0歳が949件(30.1%)と最も多く、次いで、1歳が467件(14.8%)、5歳が385件(12.1%)、4歳が341件(10.8%)で、6歳以降の対象者に関する件数は、年齢の上昇に伴い概ね減少していた(図5)。

0歳児の内訳を見ると3か月頃をピークに増減しており、経年的に見てもほぼ同様の傾向であった(図6)。



4 相談の時間帯・所要時間・曜日について

(1) 時間帯・所要時間について

相談の時間帯は17時台931件(29.5%)と最も多く、次いで18時台が788件(25.0%)であった。

相談の所要時間は、5~14分が1,693件(53.7%)と最も多く、次いで15~29分が633件(20.1%)であった(資料:表5)。

相談内容により、所要時間は異なり、子どもの病気・手当や事故相談では平均して時間が短く、育児不安を含む家族・人間関係や教育、発育・発達の相談等では、所要時間が長くなっている。

(2) 曜日について

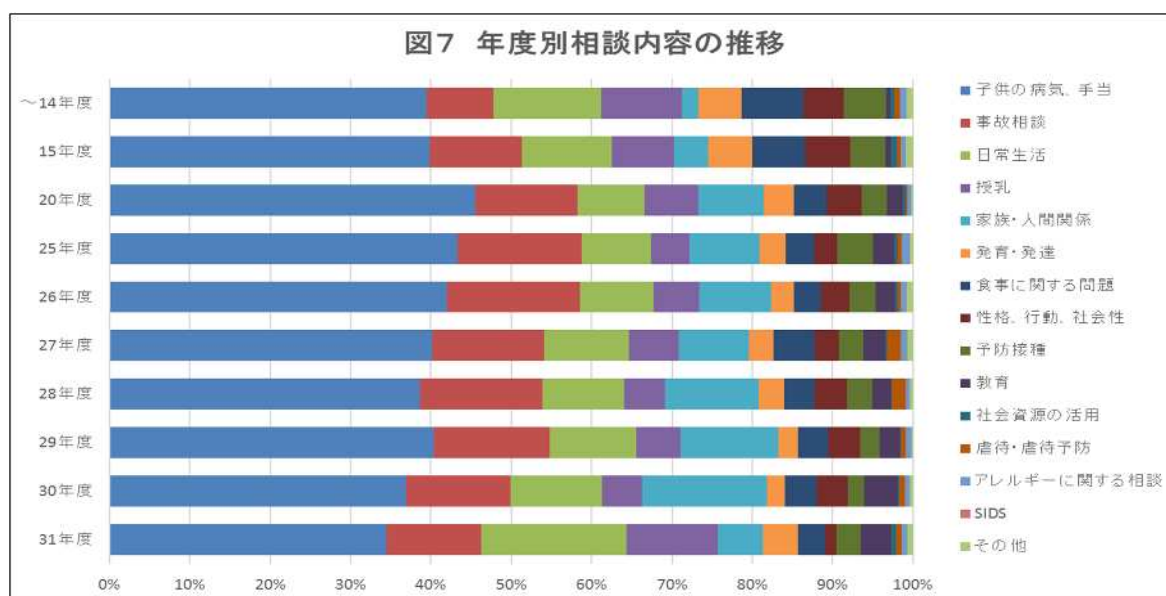
1日あたりの相談件数でみると木曜日が最も多く(14.8件)、水曜日(13.2件)、火曜日(12.8件)の順であった(資料:表6)。曜日別相談内容では、「子どもの病気、手当」「家族・人間関係」で曜日により違いがみられた(資料:表8)。

5 相談内容について

(1) 相談内容について

相談員が相談記録作成時に分類した相談内容では、「育児相談」が2,935件(93.1%)と大半を占め、次いで「家族の心と体の相談」110件(3.5%)、「思春期相談」34件(1.1%)の順であった。(資料：表7)。

「育児相談」2,935件の内訳は「子どもの病気、手当て」が1,011件(34.4%)と最も多く、次いで「家族・人間関係」の531件(18.1%)、「事故相談」348件(11.9%)、「日常生活」の333件(11.3%)の順で多かった。相談内容の推移から「子どもの病気・手当て」「事故相談」「予防接種」といった子どもの病気や体調に関する相談の割合が24年度まで年々増加し、合計で68.6%となっていたが、24年度に365日体制、27年1月に夜間実施時間が延長した『小児救急電話相談(＃8000)』が住民へ浸透したためか、31年度は47.8%であった。(図7)。



曜日別では、土曜日の「子どもの病気、手当て」の相談の割合45.8%は他の曜日の平均34.4%と比べ11.4%高く特徴的である(資料：表8)。

(2) 育児相談の内容について

本年度の育児相談2,935件の主な内容について資料：表9に示した。

1) 「子どもの病気、手当て」1,011件(34.4%)

目の前の子どもの症状、病状への対応についてのアドバイス、受診の要否についての相談が多く、熱や鼻汁等のかぜ症状、下痢、嘔吐等の消化器症状、発疹等の皮膚症状、インフルエンザ等の感染症の順に多かった。また、処方された薬の飲みせ方や使い方等の薬に関する相談40件も含まれている。

<相談例>

- ・ 4か月児、発熱37.5～38.0℃、鼻汁やくしゃみあり。受診した方がよいか。
- ・ 1歳3か月児、登園のたびに風邪をもらってくる。ノロ感染を防ぐにはどうしたらよいか。
- ・ 3歳児、インフルエンザと診断され、座薬2/3のところ1本挿入したが大丈夫か。

受診すべきかを問う相談や、どう行動すべきか意思決定をするための相談が多く、「かかりつけ医を受診し、内服薬や坐薬をもらってあるが不安。」といった電話も少なくない。保護者が現状をどう捉えているかをよく聴き、今できていることを認めることも重要である。家庭看護力の低下が指摘されている中、発熱の生理的意味から、“様子を見る”とはどういうことか、受診に切り替えるタイミングまでを十分に説明する等、保護者をエンパワメントできる相談となるよう心掛けている。

2) 「家族・人間関係」 531 件 (18.1%)

「育児不安」が 349 件 (65.7%) で最も多く、次いで「家族内の人間関係」 99 件 (18.6%)、「近所との付き合い方」「職場関係」が各 33 件 (6.2%) であった。

「育児不安」では、4 歳児の母から「下に 9 か月の児あり、赤ちゃん返りであることを聞かない。面倒くさくて考えるのも嫌になっている。」という相談や、2 か月児の母からは「育児に対して不安大。自分ではダメなのでは？この子との関係性が上手くできないと思ってしまう。」といった様々な相談が持ち込まれている。「家族内の人間関係」では、「夫が育児に非協力的」「夫の親との関係性」に関する相談が多く、「話を聞いて欲しい」との訴えがあった。「近所との付き合い」では、近隣住民やママ友、同級生の両親等、子どもを介して広がる社会に対するストレスに関する相談が多かった。

これら「家族・人間関係」の相談では、356 件 (71.3%) が「利用経験あり」であり、件数も年々増えていることからこれらの悩みを抱える保護者の相談の受け皿となっていることがうかがえた。

3) 「事故相談」 348 件 (11.9%)

「誤飲・誤嚥」が 133 件 (38.2%) と最も多く、次いで「転落」「転倒」「衝突」「熱傷」と続く (表 9)。また、事故相談全体で 1 歳未満の子どもについての相談が 135 件 (38.8%) を占めていた。

<誤飲・誤嚥>

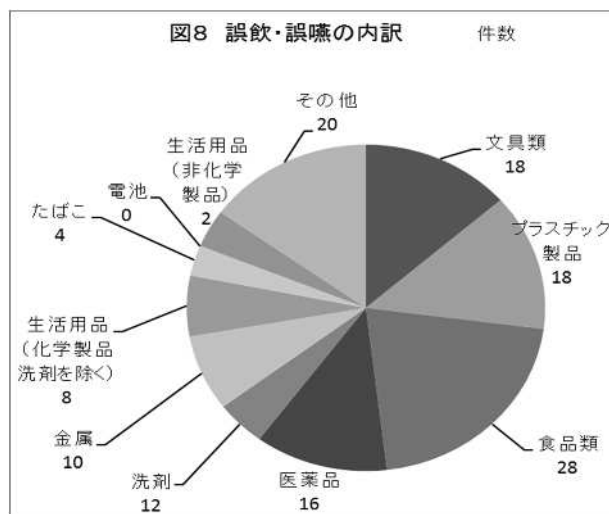
誤飲・誤嚥も内容により、緊急性が異なる。その内容を図 8 に示す。

・「文具類」18 件中、紙類が 11 件 (61.1%) で、その他、インク等があった。

・「プラスチック製品」18 件中、包装 (ペットボトルのラベルやラップ等) と食器 (スプーンや箸等)、おもちゃが各 4 件 (22.2%)、その他、ボタン等があった。

・「食品」28 件中、魚の骨が 7 件 (25.0%) と最も多く、酒類、飴、果物の種、パン類が各 2 件 (7.1%)、その他には調味料やご飯粒等があった。

・「医薬品」16 件中、1 歳未満児が 9 件と半数以上であった。「軟膏等の外用薬を舐めた」が 9 件 (56.3%)、「大人用の薬を飲んでしまった」が 4 件 (25.0%)、他に「きょうだいの薬を間違えて与えてしまった」「分量を多く飲ませてしまった」等があった。



<転落・転倒>

・「転落」79件中、ベッド等の家具からが32件(40.5%)、ソファ等を含めた椅子からが20件(25.3%)、階段8件(10.1%)であった。「目を離した際に家具によじ登り転落した」ケースや、「バウンサーからの転落」があった。

・「転倒」54件中、居室での転倒が34件(63.0%)と最も多く、次いで道路が6件(11.1%)、玄関・縁側が3件(5.6%)と続いた。居室では、つかまり立ちや歩き始めでバランスを崩し、床や机に額や顔面をぶつけたケースや、お座りで後ろに倒れて後頭部を打撲したケースがあった。

<熱傷>

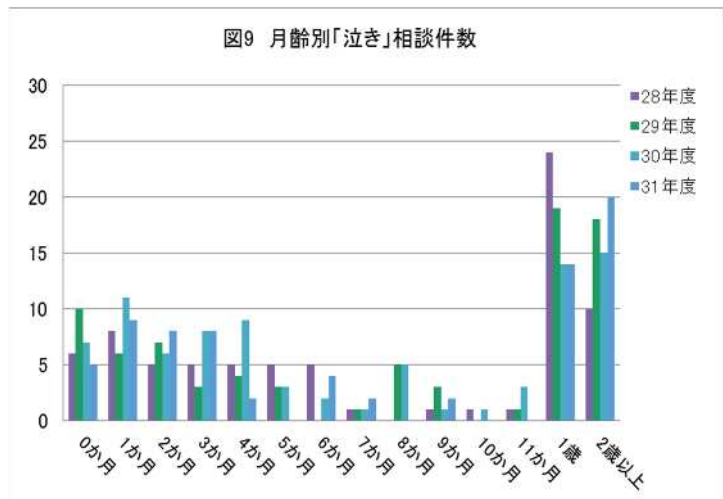
・熱傷8件中、2歳児と0歳児が2件ずつ(25.0%)であった。最も多いのは「卓上のお湯、熱いスープ等」5件(62.5%)で、作りたての味噌汁やお茶等であった。次いで、「ポット、炊飯器」が2件(25.0%)で、受診を勧めたケースもあった。

事故相談では、保護者の事故に対する焦りや自責の気持ちに寄り添い、状況を的確に捉えて、冷静な対応を促す。乳幼児の事故相談は、環境整備により防ぐことが可能なものが大半である。起こったことを客観的に振り返ることが次の事故の予防となることを啓発する必要性を感じる。

4) 「日常生活」333件(11.3%)

「泣き」の相談が74件(22.2%)と最も多く、0歳児の相談が46件(62.2%)で、そのうち0~6か月の相談が31件(67.4%)と多く認められた(図9)。

『乳幼児揺さぶられ症候群』の予防のためにも、生後6週間くらいから見られる夕暮れ泣き(『PURPLE CRYING』)への対応策を早い段階から啓発する必要性が示唆される。



<相談例>

- ・ 1か月児、昨夜よりよく泣いて抱っこしてばかり。抱けば泣き止む。どこか病気なのか？母自身が眠れずつらい。
- ・ 3歳児、友達の家で遊び、思うようにいかなかったときに大泣きする。母として対応が感情的になりすぎていないか不安。自分のストレスとどう向き合えばよいかも悩む。

以下、「トイレトレーニング」に関する相談が40件(12.0%)、「しつけ」38件(11.4%)と続く。

5) 「授乳」165件(5.6%)

「授乳方法」に関する相談は80件(48.5%)認められ、授乳回数、間隔、量、眠りとの関連等の相談が主であった。

<相談例>

- ・ もうすぐ3か月になる児、ミルク保育だが最近になり回数も量も減っている。
- ・ 生後20日の児、母乳の出が良くないが母乳を飲ませたい。

次いで、「吐乳、溢乳」34件（20.6%）、「乳汁を飲まない」19件（11.5%）「授乳と薬」13件（7.9%）と続く。「授乳と薬」では、体調が悪い辛さに加え、授乳に悩む辛さに寄り添い、根拠に基づいた適切な助言ができるよう努めている。

6) 「性格、行動、社会性」126件(4.3%)

昨年度に比べて割合は増加している。「言うことを聞かない」が74件(58.7%)で半数以上を占め、次いで「赤ちゃん返り」が13件(10.3%)、「習癖」が12件(9.5%)であった。

<相談例>

- ・ 1歳9か月児、意に沿わないとものを投げるほか、いつも動いていて落ちついて座っていることがない。毎日辛く育児ができない。どんな風に育ててよいか分からない。怒ってしまう。
- ・ 3歳児、かんしゃくが激しく困っている。下の子が生まれてからかんしゃくがひどくなった。自分もイライラして児に対して怒ったりつらく当たったりしてしまう。
- ・ 4歳児、ダメと注意するが聞かず。叱ると言い訳をして素直に聞かない。こんなときはどのように叱ればよいのか。夫はまたいつもの小言という顔をして気にはしていない。

7) その他

「予防接種」は43件（1.5%）であった。「副反応」の相談では、肺炎球菌、Hib、B型肝炎、ロタウイルス等の同時接種後の一過性の発熱の相談やBCG接種後の発赤腫脹についての相談があった。

「虐待・虐待予防」は18件（0.6%）であり昨年度より横ばいであった。

<相談例>

- ・ 上の子がやんちゃで言うことを聞かず止めてと言っても止めないので手が出てしまう。怒りが抑えられない。
- ・ 2歳児、イライラしてしまい毎日児に対して怒鳴っている。イヤイヤ期真っ最中でかんしゃくを起こす。自分は元々育児不安がある。どのように接してよいか分からない。児と二人きりになることが怖い。夫には話せない。

原則、匿名相談ではあるが、気になるケースについては、相談対象が明確でなくともできる限りの情報を用いて地域連携を行っている。

6 相談結果について

電話相談は原則匿名で1回の相談での終了が前提となっているため、利用経験がある場合も継続支援とはしておらず、1回で終了としている。

7 まとめ

相談件数は平成18年度以降減少傾向にある。総務省の調査では、住宅用固定電話の加入数は平成17年以降減少している。携帯電話・スマートフォンの普及から、インターネットによる相談にもアクセスが簡便になったことや通話費用負担が大きくなりがちな電話相談の利用が敬遠される状況であることが推測される。

平成24年度以降、『小児救急電話相談（#8000）』の住民への浸透に伴い「子どもの病気・手当」「事故相談」が大きく減少しており、本年度も、子どもの体調に関わる内容の相談割合が昨年度に比べて減少している。一方で、「家族・人間関係」についての相談割合は年々大きくなっており、「家族・人間関係」の悩みについて身近に相談できる人がいない状況にある相談者が増えている状況が懸念される。相談記録からは「誰かに話を聞いて欲しい」との訴えも多く、『育児もしもしキャッチ』は育児や人間関係で困っている親の不安や心配、うまくいかない苛立ちを受け止める窓口としての大きな役割を担っている。

本事業は平成13年11月のセンター開設と同時に開始され、関係機関からも高い認知度と期待を受けて運営されてきた。社会の育児問題が反映されており、ニーズ把握に役立てることができる貴重な機会でもある。県内の小児保健の中核的支援機能を有する当センターの保健事業のひとつとして、今後も継続する必然性はあるが、今後の相談件数の傾向も見ながら相談を求める人とつながれるよう、相談の周知方法や受信方法についても検討をしていくことが必要である。



表1 市町村別の利用状況

	市町村	件数	出生 1,000対	H30 出生数		市町村	件数	出生 1,000対	H30 出生数
1	名古屋市	921	48.7	18,904	30	弥富市	17	25.2	675
2	あま市	222	656.8	338	31	碧南市	17	30.6	555
3	刈谷市	175	111.3	1,573	32	蒲都市	17	30.9	550
4	豊田市	116	33.5	3,466	33	尾張旭市	15	25.2	595
5	安城市	92	52.7	1,745	34	幸田町	15	34.0	441
6	一宮市	84	29.7	2,828	35	高浜市	14	33.1	423
7	岡崎市	83	24.9	3,337	36	東浦町	14	40.0	350
8	春日井市	72	27.3	2,635	37	津島市	13	35.2	369
9	大府市	70	75.0	933	38	田原市	13	29.9	435
10	清須市	67	87.8	763	39	阿久比町	12	43.0	279
11	北名古屋市	67	75.7	885	40	岩倉市	11	24.3	453
12	豊橋市	66	23.4	2,820	41	南知多町	11	164.2	67
13	知立市	65	98.6	659	42	新城市	11	46.6	236
14	西尾市	63	50.1	1,258	43	武豊町	9	29.8	302
15	蟹江町	55	186.4	295	44	豊山町	8	54.1	148
16	東海市	50	45.7	1,094	45	常滑市	7	15.0	466
17	長久手市	50	72.4	691	46	扶桑町	7	26.1	268
18	豊川市	49	32.4	1,511	47	犬山市	5	11.5	433
19	小牧市	40	39.5	1,012	48	大治町	3	10.3	292
20	稲沢市	40	38.3	1,044	49	大口町	2	9.3	214
21	日進市	38	39.3	967	50	美浜町	2	18.2	110
22	半田市	37	39.7	932	51	設楽町	0	0.0	16
23	愛西市	32	99.1	323	52	飛島村	0	0.0	39
24	瀬戸市	28	36.5	767	53	東栄町	0	0.0	17
25	みよし市	23	42.3	544	54	豊根村	0	0.0	4
26	江南市	22	33.6	654		県内不明	33		
27	知多市	21	32.4	649		愛知県下 (含名古屋市)	2,892	47.2	61,230
28	豊明市	18	36.7	490		他県	58		
29	東郷町	18	47.9	376		不明	202		
						合計	3,152		

表2 年度別経路

経路	利用経路あり	市町村(保健福祉)	母子健康手帳	医療機関	保健所	友人・知人	ホームページ	子育て支援センター	院内	幼稚園・保育園等	学校	児童相談センター	その他	不明	計
14年度※	105	2,492	128	328	475	66	25	37	53	52	3	19	155	908	4,846
	(2.2)	(51.4)	(2.6)	(6.8)	(9.8)	(1.4)	(0.5)	(0.8)	(1.1)	(1.1)	(0.1)	(0.4)	(3.2)	(18.7)	(100.0)
15年度	501	2,500	322	63	667	113	36	16	8	667	49	16	204	430	5,488
	(9.1)	(45.6)	(5.9)	(1.1)	(12.2)	(2.1)	(0.7)	(0.3)	(0.1)	(12.2)	(0.9)	(0.3)	(3.7)	(7.8)	(100.0)
16年度	2,290	1,414	517	377	565	119	74	35	80	21	5	10	220	448	6,175
	(37.1)	(22.9)	(8.4)	(6.1)	(9.1)	(1.9)	(1.2)	(0.6)	(1.3)	(0.3)	(0.1)	(0.2)	(3.6)	(7.3)	(100.0)
17年度	3,124	854	661	303	376	102	76	24	69	19	11	7	175	677	6,478
	(48.2)	(13.2)	(10.2)	(4.7)	(5.8)	(1.6)	(1.2)	(0.4)	(1.1)	(0.3)	(0.2)	(0.1)	(2.7)	(10.5)	(100.0)
18年度	3,652	821	611	343	340	118	81	43	32	6	4	9	121	554	6,735
	(54.2)	(12.2)	(9.1)	(5.1)	(5.0)	(1.8)	(1.2)	(0.6)	(0.5)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(1.8)	(8.2)	(100.0)
19年度	3,429	821	666	379	387	120	112	35	45	7	2	4	52	412	6,471
	(53.0)	(12.7)	(10.3)	(5.9)	(6.0)	(1.9)	(1.7)	(0.5)	(0.7)	(0.1)	(0.0)	(0.1)	(0.8)	(6.4)	(100.0)
20年度	3,276	796	665	315	383	80	129	40	35	3	3	3	74	492	6,294
	(52.0)	(12.6)	(10.6)	(5.0)	(6.1)	(1.3)	(2.0)	(0.6)	(0.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(1.2)	(7.8)	(100.0)
21年度	3,180	832	725	297	382	84	135	23	13	7	4	3	52	416	6,153
	(51.7)	(13.5)	(11.8)	(4.8)	(6.2)	(1.4)	(2.2)	(0.4)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.8)	(6.8)	(100.0)
22年度	3,027	743	711	240	385	68	122	27	9	8	4	4	41	571	5,960
	(50.8)	(12.5)	(11.9)	(4.0)	(6.5)	(1.1)	(2.0)	(0.5)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.7)	(9.6)	(100.0)
23年度	2,725	828	730	250	295	68	113	29	18	10	2	1	39	380	5,488
	(49.7)	(15.1)	(13.3)	(4.6)	(5.4)	(1.2)	(2.1)	(0.5)	(0.3)	(0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.7)	(6.9)	(100.0)
24年度	2,509	762	671	201	158	53	167	32	31	2	1	0	31	305	4,923
	(51.0)	(15.5)	(13.6)	(4.1)	(3.2)	(1.1)	(3.4)	(0.7)	(0.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.6)	(6.2)	(100.0)
25年度	2,335	602	632	117	134	41	196	24	28	9	3	2	26	312	4,461
	(52.3)	(13.5)	(14.2)	(2.6)	(3.0)	(0.9)	(4.4)	(0.5)	(0.6)	(0.2)	(0.1)	(0.0)	(0.6)	(7.0)	(100.0)
26年度	2,027	460	537	113	126	14	197	17	22	2	2	0	31	225	3,773
	(53.7)	(12.2)	(14.2)	(3.0)	(3.3)	(0.4)	(5.2)	(0.5)	(0.6)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.8)	(6.0)	(100.0)
27年度	1,975	431	509	80	77	27	244	14	9	4	0	0	22	275	3,667
	(53.9)	(11.8)	(13.9)	(2.2)	(2.1)	(0.7)	(6.7)	(0.4)	(0.2)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.6)	(7.5)	(100.0)
28年度	1,761	376	503	65	50	17	293	14	6	2	3	1	18	281	3,390
	(51.9)	(11.1)	(14.8)	(1.9)	(1.5)	(0.5)	(8.6)	(0.4)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.5)	(8.3)	(100.0)
29年度	1,433	329	420	52	51	8	275	9	7	0	0	1	3	220	2,808
	(51.0)	(11.7)	(15.0)	(1.9)	(1.8)	(0.3)	(9.8)	(0.3)	(0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(7.8)	(100.0)
30年度	1,722	351	376	49	18	11	275	4	7	2	1	0	9	339	3,164
	(54.4)	(11.1)	(11.9)	(1.5)	(0.6)	(0.3)	(8.7)	(0.1)	(0.2)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(10.7)	(100.0)
31年度	1,849	344	323	47	9	16	282	7	2	2	1	2	8	260	3,152
	(58.7)	(10.9)	(10.2)	(1.5)	(0.3)	(0.5)	(8.9)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.1)	(0.3)	(8.2)	(100.0)

表3 相談者の続柄

続柄	件数	割合
母	2,882	91.4%
本人	162	5.1%
父	83	2.6%
配偶者	3	0.1%
祖父母等	11	0.3%
きょうだい	1	0.0%
専門家等	0	0.0%
その他	3	0.1%
不明	7	0.2%
合計	3,152	100.0%

表4 相談対象者

	件数	割合
子ども	2,965	94.1%
本人	162	5.1%
孫・甥・姪等	11	0.3%
配偶者	3	0.1%
きょうだい	1	0.0%
患者等	0	0.0%
その他	8	0.3%
不明	2	0.1%
総計	3,152	100.0%

表5 時間帯と所要時間

所要時間	17時台	18時台	19時台	20時台	不明	合計
5分未満	162	128	126	111	4	531
	17.4%	16.2%	16.8%	16.8%	0.0%	16.8%
5～14分	507	434	398	338	16	1,693
	54.5%	55.1%	53.2%	51.1%	0.0%	53.7%
15～29分	167	166	136	160	4	633
	17.9%	21.1%	18.2%	24.2%	0.0%	20.1%
30～44分	65	39	59	41	0	204
	7.0%	4.9%	7.9%	6.2%	0.0%	6.5%
45～59分	21	15	18	9	0	63
	2.3%	1.9%	2.4%	1.4%	0.0%	2.0%
60分以上	9	6	11	2	0	28
	1.0%	0.8%	1.5%	0.3%	0.0%	0.9%
全体	931	788	748	661	24	3,152
	29.5%	25.0%	23.7%	21.0%	0.8%	100.0%

表6 曜日別状況

	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	全体
H18年度	1,289 19.1%	1,425 21.2%	1,506 22.4%	1,320 19.6%	1,195 17.7%	6,735 100.0%
H19年度	1,221 18.9%	1,480 22.9%	1,395 21.6%	1,262 19.5%	1,113 17.2%	6,471 100.0%
H20年度 (1日平均件数)	1,160 (27.6) 18.4%	1,365 (27.9) 21.7%	1,406 (27.6) 22.3%	1,223 (24.5) 19.4%	1,137 (22.3) 18.1%	6,294 (25.9) 100.0%
H21年度 (1日平均件数)	1,159 (27.0) 18.8%	1,321 (27.5) 21.5%	1,301 (27.1) 21.1%	1,255 (24.6) 20.4%	1,117 (21.9) 18.2%	6,153 (25.5) 100.0%
H22年度 (1日平均件数)	1,163 (25.8) 19.5%	1,239 (25.3) 20.8%	1,290 (26.9) 21.6%	1,191 (23.8) 20.0%	1,077 (21.1) 18.1%	5,960 (24.5) 100.0%
H23年度 (1日平均件数)	1,055 (23.4) 19.2%	1,165 (22.8) 21.2%	1,149 (23.4) 20.9%	1,056 (21.6) 19.2%	1,063 (20.8) 19.4%	5,488 (22.4) 100.0%
H24年度 (1日平均件数)	946 (19.7) 19.2%	1,033 (20.7) 21.0%	1,107 (22.1) 22.5%	871 (17.4) 17.7%	966 (18.9) 19.6%	4,923 (19.8) 100.0%
H25年度 (1日平均件数)	791 (19.3) 17.7%	966 (18.9) 21.7%	968 (19.0) 21.7%	842 (17.2) 18.9%	894 (17.2) 20.0%	4,461 (18.3) 100.0%
H26年度 (1日平均件数)	642 (15.3) 17.0%	784 (16.0) 20.8%	868 (17.0) 23.0%	704 (13.8) 18.7%	775 (15.2) 20.5%	3,773 (15.5) 100.0%
H27年度 (1日平均件数)	644 (15.0) 17.6%	750 (15.6) 20.5%	787 (16.1) 21.5%	691 (13.5) 18.8%	795 (15.6) 21.7%	3,667 (15.2) 100.0%
H28年度 (1日平均件数)	637 (14.8) 18.8%	736 (15.3) 21.7%	718 (14.7) 21.2%	647 (12.7) 19.1%	652 (12.8) 19.2%	3,390 (14.0) 100.0%
H29年度 (1日平均件数)		736 (15.0) 26.2%	774 (15.2) 27.6%	615 (12.1) 21.9%	683 (13.4) 24.3%	2,808 (11.6) 100.0%
H30年度 (1日平均件数)	512 (10.4) 16.2%	722 (14.7) 22.8%	717 (14.1) 22.7%	600 (11.8) 19.0%	613 (12.0) 19.4%	3,164 (13.1) 100.0%
H31年度 (1日平均件数)	513 (12.8) 16.3%	661 (13.2) 21.0%	741 (14.8) 23.5%	616 (12.6) 19.5%	621 (12.2) 19.7%	3,152 (13.1) 100.0%

表7 相談分類

	件数	割合
育児相談	2,935	93.1%
家族の心と体の相談	110	3.5%
思春期相談	34	1.1%
母性相談	30	1.0%
その他	43	1.4%
合計	3,152	100.0%

表8 育児相談の曜日別状況

内容	全体		内訳									
			火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日					
子供の病気、手当	1,011	34.4%	134	28.3%	204	32.9%	234	33.5%	174	30.9%	265	45.8%
家族・人間関係	531	18.1%	103	21.7%	117	18.9%	136	19.5%	104	18.4%	71	12.3%
事故相談	348	11.9%	60	12.7%	74	11.9%	90	12.9%	54	9.6%	70	12.1%
日常生活	333	11.3%	54	11.4%	77	12.4%	76	10.9%	71	12.6%	55	9.5%
授乳	165	5.6%	29	6.1%	28	4.5%	38	5.4%	34	6.0%	36	6.2%
性格、行動、社会性	126	4.3%	19	4.0%	36	5.8%	25	3.6%	23	4.1%	23	4.0%
教育	110	3.7%	20	4.2%	21	3.4%	31	4.4%	28	5.0%	10	1.7%
食事に関する問題	99	3.4%	18	3.8%	22	3.5%	22	3.1%	18	3.2%	19	3.3%
発育・発達	88	3.0%	20	4.2%	16	2.6%	18	2.6%	23	4.1%	11	1.9%
予防接種	43	1.5%	6	1.3%	11	1.8%	12	1.7%	8	1.4%	6	1.0%
アレルギーに関する問題	22	0.7%	2	0.4%	4	0.6%	5	0.7%	8	1.4%	3	0.5%
社会資源の活用	21	0.7%	4	0.8%	2	0.3%	2	0.3%	8	1.4%	5	0.9%
虐待・虐待予防	18	0.6%	4	0.8%	4	0.6%	7	1.0%	3	0.5%	0	0.0%
SIDS相談	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	20	0.7%	1	0.2%	14	0.6%	3	0.4%	8	1.4%	4	0.7%
計	2,935	100.0%	474	100.0%	620	100.0%	699	100.0%	564	100.0%	578	100.0%

表9 育児相談(2935件)の主な内容

	①		②		③	
	件数		件数		件数	
	1,011 (34.4%)	子供の病気、手当	531 (18.1%)	家族・人間関係	348 (11.9%)	事故相談
主な内容	335	33.1%	349	65.7%	133	38.2%
	253	25.0%	99	18.6%	79	22.7%
	103	10.2%	33	6.2%	54	15.5%
	75	7.4%	33	6.2%	39	11.2%
	40	4.0%			8	2.3%

	④		⑤		⑥	
	件数		件数		件数	
	333 (11.3%)	日常生活	165 (5.6%)	授乳	126 (4.3%)	性格、行動、社会性
主な内容	74	22.2%	80	48.5%	74	58.7%
	40	12.0%	34	20.6%	13	10.3%
	38	11.4%	19	11.5%	12	9.5%
	27	8.1%	13	7.9%	6	4.8%

	⑦		⑧		⑨	
	件数		件数		件数	
	110 (3.7%)	教育	99 (3.4%)	食事に関する問題	88 (3.0%)	発育・発達
主な内容	50	45.5%	38	38.4%	28	31.8%
	40	36.4%	25	25.3%	23	26.1%
	5	4.5%	11	11.1%	22	25.0%
			6	6.1%	8	9.1%

	⑩		⑪		⑫	
	件数		件数		件数	
	43 (1.5%)	予防接種	22 (0.7%)	アレルギーに関する相談	21 (0.7%)	社会資源の活用
主な内容	23	53.5%	12	54.5%	21	100.0%
	11	25.6%	4	18.2%		
	3	7.0%	2	9.1%		

	⑬	
	件数	
	18 (0.6%)	虐待・虐待予防
主な内容	11	61.1%
	7	38.9%

編集	あいち小児保健医療総合センター 保健センター保健室 〒474-8710 大府市森岡町七丁目 426 番地 TEL 0562-43-0500 内線 4043
発行	令和2年6月